

# 「履歴書」・「業績目録」の記入要領

## <履歴書>

### 履歴書について……様式(1)

- 1) 西暦年で記入しワープロ等で印字して下さい。各項目が網羅されていれば枠の広さ等は自由です。
- 2) 年齢は、履歴書作成日現在の満年齢を記入して下さい。
- 3) 学歴欄には高等学校卒業以降（大学院の場合は単位取得、学位を有しない場合は退学まで）のすべての学歴を記入して下さい。
- 4) 免許欄には医師・歯科医師等業務に関連する免許証登録番号及び登録年月を記入して下さい。
- 5) 学位欄には学位名、取得大学名、学位番号及び取得年月を記入して下さい。
- 6) 職歴・研究歴欄には、職歴と研究歴のすべて（国外留学、国内留学を含む）を順次記入して下さい。
- 7) 賞罰欄には、大学、学会、医学団体等からの受賞（学術奨励賞、研究奨励賞）その受賞年月も記入して下さい。
- 8) 主たる所属学会及び役員欄には、現在所属している学会名、現職の役職等を記入して下さい。  
（例）〇〇学会会員、評議員、理事  
国外における所属学会(国際学会含)で active member は証明書を添付して下さい。
- 9) 主たる学会認定医・専門医等欄には、日本医学会に含まれる各学会で取得した認定医、専門医などを記入しそれぞれ取得番号を付して下さい。
- 10) その他欄には社会における活動、行政機関から委託された委員会及び役職名等を記入して下さい。
- 11) 教育歴のある方は、今年度受持授業時間のほか、教育業績、学内外の教育関連の役職、FDやワークショップ等の参加歴等を様式(1)－2に記入して下さい。

## <業績目録>

業績目録は、別記様式を遵守し、Ⅰ) 著書、Ⅱ) 学術論文(原著、総説、症例報告、その他の学術論文)、Ⅲ) 学術刊行物(研究報告、その他の学術刊行物)、Ⅳ) 学会及び研究会発表(a. 国際学会、b. 国内学会、地方会及び研究会)、Ⅴ) 公的機関から受けた研究助成金、Ⅵ) 学術関連広報活動及びその他に分類し、それぞれ別葉とします。記入例の様式(3)にならい、年代順に西暦年で記入し、ワープロ等で印字して下さい。各項目が網羅されていれば枠の広さ等は自由です。記入方法について特に指定のない場合は、すべて記入して下さい。

### Ⅰ) 著書について……様式(2)

単行本、叢書、また分担執筆(辞書、全集なども含む。)、翻訳、編集及び監修等を記入して下さい。分担執筆は、分担題名を記入し、頁欄にはその該当する頁のみを記入して下さい。(同一著書内での複数項目の分担は合わせて一編とし、2項目からは分担題名、頁のみ記入)

### Ⅱ) 学術論文について……様式(3)

原著、総説、症例報告、その他の学術論文を記入して下さい。

- ①原著：学術誌に掲載された独創的な内容の学術論文で、他の学術誌に掲載されていないもの
- ②総説：展望などを含み学術誌に掲載されたもの
- ③症例報告：学術誌に掲載された症例報告
- ④その他の学術論文：短報、レター、図説、臨床治験及びプロシーディング等で学術誌に掲載された論文

※ なお、ここでいう学術誌とは Index medicus、Science Citation Index あるいは医学中央雑誌に登録されているか、レフェリーシステムを有する権威ある学術雑誌(商業誌を含む。)です。

共同執筆者は筆頭者より3名以内とします。但し、本人が該当しない場合のみ4人目に本人の氏名を記載しアンダーラインを引いて下さい。

投稿中の論文は記入しないで下さい。(印刷中のものは認めますが、掲載証明の添付を要します。)

※ 「区分」欄 … 学術論文でのあなたの役割を次にならって記入して下さい。

第1筆者(1 <sup>st</sup> author)の場合	1
第2筆者(2 <sup>nd</sup> author)の場合	2
最終筆者(Last author)の場合	L
その他	空欄

※ 「発表誌名」欄 … 英文論文の場合は枠内1行目にインパクトファクターを記入して下さい。

(記入例) I F ○○. ○○○  
発表誌名  
(巻・初頁～終頁)

### Ⅲ) 学術刊行物について(レフェリーシステムの有無を問いません。)……様式(4)

研究報告、その他の学術刊行物を記入して下さい。

①研究報告：公的機関刊行物、またはこれに準ずる各種学術団体及び委託研究の成果報告で、論文形式(はじめに、方法、結果…)を整えたもの(前述Ⅱ)の④以外のプロシーディングを含む。)

②その他の学術刊行物：教育、解説及び医学講座等

共同執筆者の記入方法については、Ⅱ)の共同執筆者の記入方法と同様とします。

### Ⅳ) 学会及び研究会発表について……様式(5)a及びb

a 国際学会、b 国内学会、地方会及び研究会別に用紙を分け、さらに①特別講演、招待講演、シンポジウム、パネルディスカッション及びワークショップ等と②一般演題及びポスター発表等に分類し記入して下さい。共同発表者の記入方法については、Ⅱ)の共同執筆者の記入方法に準じます。国内学会、地方会及び研究会における一般演題及びポスター発表等が20編以上ある場合は代表する20編のみを記入し、最後にその他何編と記入して下さい。

### Ⅴ) 公的機関から受けた助成金について……様式(6)

年度、研究費の名称、題名、代表または分担について記入して下さい。

### Ⅵ) 学術関連広報活動及びその他

学術関連広報活動は、マスメディア、セミナー及び年報など業績として記録しておくにふさわしい活動を記入して下さい。

※ 所定用紙はありませんので、自由に作成して下さい。